

平成26年度 定期総会

●日時=平成26年5月30日(金) 16:00~
●場所=京都商工会議所2階 第1会議室

ご来賓として京都府、京都市、京都商工会議所、京都府中小企業団体中央会、また賛助会員の京都銀行さまをはじめ、京都デザイン関連団体協議会の三輪泰司議長にもご出席いただき開催しました。

才門俊文理事の司会で、奈良磐雄理事長が議長に選任され議事を進行。25年度事業報告、決算報告、会計監査報告、会員数報告に続き、役員改選の結果が鈴木秀信選挙管理委員長から報告されました。そして、新役員を中心に実施する26年度事業計画、予算案についての説明があり、すべて異議なく承認されました。

公益社団法人としての事業を活発にするため、会員増強、活動資金の寄附募集にも力を注ぐ事が確認されました。

総会后、懇親会場を先斗町「京料理 卯柳 先斗町 花」に移し、新入会員さんも交え親睦を深めました。



総会

新理事決定!

井上昌彦、大石義一、岡本一真、片倉文恵、川口凱正、官能右泰、才門俊文、鈴木秀信、高濱 豊、竹林善孝、田中 聡、土居英夫、中西ひろむ、奈良磐雄、藤原義明、古川加津夫、松原 出、山岡敏和、(有) 画箋堂 山本祐三、(株)尚雅堂 松尾安浩

監事:久谷政樹、本郷大田子

一般会員、賛助会員の皆さんの協力無しには大きく動けません、どうぞよろしくお願いいたします。



乾杯



懇親会

伝統工芸デザイン支援事業

色紙のアイデア募集

伝統工芸とデザインの可能性を探る試みとして今回は、京都色紙短冊協同組合青年会と色紙の新たな可能性を探るべく取り組みました。芸術大学を中心に広く一般公募をし、出品数47件・応募者19名のご参加をいただきました。内9件を優秀賞とし3000円相当のQUOカードを青年会より贈呈いたしました。

残念ながら商品化に至る作品はありませんでしたが、今後の色紙の可能性を考えるうえでたいへん参考になったと青年会メンバーの意見でした。



イヤタカグループは今年、創立40周年。



これまで、これからも、私たちは心の絆を支えます。

IYATAKA
GROUP

http://www.iyatataka.co.jp 〒010-0001 秋田県秋田市中通6-1-13 Tel:018-835-1188

LOOK! KDA



2013年11月~2014年6月の
ご報告

社団法人 京都デザイン協会

〒604-8247
京都市中京区塩屋町39
TEL:050-3385-8008
FAX:050-3385-8009
URL:http://www.kyoto-design.net/
E-mail:info@kyoto-design.net

2014年 8月20日発行

京都デザイン協会会員みなさまに
KDAの今を随時ご報告します。

会員のために、
京都デザインの明日のために
さまざまな事業活動を実施中。
どうぞご参加ください。

京都デザイン協会 会員展

京都の日本酒に デザインで乾杯!展

<京都展>

●日時=平成26年3月25日(火)~30日(日)
10:30~20:00

●場所=ゼストギャラリー ●入場者数=約600人

2013年度は、「京都の日本酒にデザインで乾杯!展」と銘打ち、今京都で盛り上がる日本酒をテーマにラベルデザインの作品展を開催いたしました。伏見酒造組合様、京都酒造組合様のご協力をいただき28銘柄のオリジナルデザインが展示されました。

京都市では「日本酒で乾杯条例」を追い風に伝統の日本酒が見直されています。昨年末には和食がユネスコの無形文化遺産に登録され日本酒の舞台もさらに増えるものと期待が寄せられています。

グラフィックデザインをはじめイラストレーション、建築デザインなど様々なジャンルのデザイナーで構成される当協会ならではの個性

的なデザインは、きっとおいしい日本酒を印象づけることができたのではないかと思います。

本展覧会会場として、サンエムカラー様のご厚意により御池のゼストギャラリーを提供いただきました。このギャラリーは京都市役所のすぐそば、地下街ゼストのほぼ中央という好立地で、オープニングには京都市長を初め京都市の行政の方々にもご高覧いただくこと



ができました。地下街ゼストを歩き交う多くの人にも立ち寄っていただき、日本酒のPRにもつながったものと考えています。

<秋田展>

●日時=平成26年5月12日(月)~5月25日(日)
10:00~20:00

●場所=秋田公立美術大学サテライトセンター

<シンポジウム>

KDAより川口副理事長、田中常務理事が
パネラーとして参加

●テーマ=デザイナーの視点から見る京の食文化

●日時=平成26年5月17日(土) 16:00~17:10

●場所=秋田公立美術大学サテライトセンター

●パネラー=川口凱正 田中聡

●コーディネーター=官能右泰

●主催=あきた川反ルネサンス・プロジェクト
推進委員会

●入場者数=約700名(5月23日 秋田市長もご来場)

広々とした会場に展示された酒瓶はスポットライトを浴びて輝いていました。秋田公立美術大学からも教員の孔鎮烈氏、学生の二木千秋さんの出品があり、80点を超える作品が並びました。

また、展覧会の関連イベントとして、5月17日、シンポジウムが開催されました。約50名の聴衆が集まりました。

京料理菊乃井の村田様より伺いましたお話を参考に和食、京料理の現状

とこれからの取り組みについて話をいたしました。世界の和食になるためにアカデミックな視点が必要であることや、和の食材や器に秘められた合理性について、また給食に和食が必要なことなどをお話しました。

京都の和菓子とデザインについても、200年以上続く老舗がかたくなに守っている伝統のデザインと、開業して数年の若い和菓子屋がこだわるデザインを紹介しました。

